

# キャリアパスフォーラム第6弾

## 「日本語学校の現場II」 採用担当者側の声

キャリアパスフォーラムは、日本語教育に関心のある方に向けて、日本語教育業界の多様な現場をよく知ってもらうためのイベントです。今回は、日本語学校の現場に深く関わる先生方に日本語学校から見た「これからの先生に期待すること」などをお話いただきます。色々な視点からの話をもとに将来のキャリアを考えてみませんか。

日時：2026年2月8日（日）14:00～16:00

参加費：500円（会員・非会員問わず）

※中高生・大学学部生は参加費無料

定員：100名（要事前申込・定員になり次第締切）

対象：将来の活躍の場として、日本語学校を考えている方

キャリアパスとして、次のステップに進みたいと考えている方

### 申し込み

申込方法：日本語教育学会HP（<https://www.nkg.or.jp/>）の「マイページ」から事前申し込み  
非会員の方もマイページ登録をしてお申し込みとなります。

※中高生・大学学部生はマイページ登録不要です。[こちら](#)に必要事項を記入し、在学中であることがわかる書類（学生証の写真等）をご提出ください。



中高生・大学学部生  
申し込みQRコード

申込締切：2026年1月30日（金）正午 [日本時間]

実施方法：Web会議システムZoomを用いたオンライン開催で実施します。

Zoomを利用するための事前準備や接続方法等については、

後日、申し込み者に対してご案内いたします。

主催：公益社団法人日本語教育学会（担当：チャレンジ支援委員会）

### タイムスケジュール

- 14:00～14:15 挨拶・趣旨説明・ご登壇者の紹介 ※登壇者は次頁参照
- 14:15～15:00 車座タイム1（ご登壇者の話・質疑応答）
- 15:00～15:05 休憩・移動
- 15:05～15:50 車座タイム2（ご登壇者の話・質疑応答）
- 15:50～16:00 まとめ、学会主催イベントご案内

お問い合わせ先：公益社団法人日本語教育学会（チャレンジ支援委員会）

TEL：03-3262-4291（平日9～18時のみ）

E-mail：[challenge@nkg.or.jp](mailto:challenge@nkg.or.jp)



公益社団法人

日本語教育学会

## 登壇者紹介

加藤早苗 インターカルト日本語学校 校長 (<https://www.incul.com/>)



1988年より、留学生の日本語教育、インドネシア校勤務、ビジネス研修、日本語教師養成、地域の日本語教育など活動の幅を広げ、2000年より現職。2025年4月、一般財団法人日本語教育振興協会理事長に就任。「人と人、人と社会を言葉でつなぐ」をライフワークに。勘と勢いで生きています。

速水希樹 ECC日本語学院名古屋校 校長  
(<https://ecc-nihongo.com/archives/school/240>)



大学・大学院で言語学を学んだ後、研究の道から離れてシステムエンジニアとして勤務し、その後日本語教育の道へ。2017年に日本語教育能力検定試験に合格し、2018年より告示校と日本語教師養成講座で常勤講師として勤務。2021年に教務主任、2023年に校長へ。2024年に経過措置フルートで日本語教員試験に合格し、2025年からは登録日本語教員養成機関の主任教員も兼務。現在は、日振協の初任者研修・研究大会の運営や、日本語教師養成・研修推進拠点整備事業（中部）にも携わっている。



住田伸夫 佐伯民際日本語学校 校長 (<http://saikiminsai.com/>)

京都民際日本語学校（京都市）で教務、事務、学生募集、広報など多岐にわたる業務を経験し、企画開発部長として新規事業立ち上げや地域連携プロジェクトを推進。2025年10月に開校した佐伯民際日本語学校（大分県佐伯市）の初代校長として、地域とともに歩む多文化共生教育を実践し、留学生や市内在住外国人の学びと地域の発展をつなぐ活動を行っている。

押谷祐子 東北多文化アカデミー 代表理事  
(<http://tta-foundation.org/>)



1988年日本語教育能力検定試験合格。2024年日本語教員試験合格。国内外の高等教育・中等教育機関で日本語教育や「多文化クラス」を実践。技能実習監理団体共同代表、告示校3回、認定日本語教育機関2回の申請・申請支援経験あり。2010年一般財団法人を立ち上げ、2016年告示日本語教育機関を設置。当時は設置者・校長・主任教員兼務で大変でしたが、今はありがたいことに仲間が増えました。外国籍中長期滞在者の関所およびインキュベーターとして、「日本型」多文化共生社会のインフラとなることを目指しています。

神恵介 新世界語学院 校長 (<https://nj.alc.co.jp/entry/20241128-profile>)



AIによると、「神恵介氏は新宿区・新世界語学院の校長で、日本語教育振興協会評議員、文化庁文科省主任教員研修委員も務める。専門学校での教務・海外募集などの経験を経て、2020年より現職。日本語力と心の成長の両立を重視し、ICT活用による業務効率化や留学生支援体制の強化を推進。教育と経営の両面から日本語教育の質向上に尽力している。」らしいです。が、そんなに立派なものではなく、ただカオスで豊かなものが好きで、服と宝石・貴金属を買うために生きている普通の人です。

大和佐智子 専修学校久留米ゼミナール 教務課長  
(<https://www.kusemi.ac.jp/nihongo/>)



大学卒業後、中国にて1年間日本語教師として勤務。帰国後は非常勤講師を経て、現在は専修学校久留米ゼミナールにて主任教員を務めています。採用活動にも力を注ぎ、様々なイベントも企画しております。また、「やさしい日本語」の普及、地域日本語教育、生徒・児童への日本語教育など、地域社会の要請に応える活動にもチャレンジしています。

